

社会科

評価の観点

●印は観点、○印は評価の基準

●社会的事象への関心・意欲・態度

この観点は、社会の出来事への関心を持ち、進んで調べようとするなど、意欲的に学習へ取り組む姿勢を見ます。

○社会的事象について関心を高め、意欲的に調べようとしている。

○意欲的に自分の考えを発表したり、ノートに記録したりしている。

○提出物やレポートなどの期限を守り、きちんと提出している。

●社会的な思考・判断・表現

この観点は、社会的な事柄について、いろいろな見方や考え方ができ、総合的に問題を考えたり、自分なりの表現をしたりすることができるかを見ます。

○社会的事象から課題を見つけ、〈地理〉日本や世界の特色を環境や人々の生活など広い視野、〈歴史〉歴史の大きな流れと各時代の特色、〈公民〉社会的事象の意義や役割や相互の関連 から多面的・多角的に考察している。

○考察した過程や結果を適切に表現している。

●資料活用の技能

この観点では、適切な資料を効果的に活用し、工夫してまとめたりすることができるかを見ます。

○適切な地図、統計、文献、新聞などの資料を収集し、選択して活用する。また、地図、年表、レポート、グラフなどにまとめている。

●社会的事象についての知識・理解

この観点では、社会の事柄についての基本的な知識を身につけているか、基本的事項が理解されているかを見ます。

○定期テストや単元テストなどを通して、社会的事象を考えるための基本的な用語を理解し、身につけている。



学習の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

(学習指導要領より)

学習の特色

社会科は、地理的分野、歴史的分野、公民的分野の3分野からなっています。具体的な事象を通して、課題を追究、考察する学習を多く行います。その学習の過程で、調べ方や学び方、見方や考え方を学び、身につけるようにしていきます。従って、授業では、調査、研究、発表、討論などの作業的・体験的な学習、問題解決的な学習に取り組んでいきます。

3分野とも、次のような資料を活用しながら、さまざまな面や角度から考える力をつけていくことが目的です。

【地理】地図帳、各種統計データ など

【歴史】年表、地域資料 など

【公民】資料集、新聞資料 など

勉強の仕方

- 提出物の提出期限は必ず守る。
- 他人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の考えははっきり言えるようにする。
- 教科書などの基本的な用語(太文字)を中心に覚える。
- 調べた内容は、地図や年表、図表などを使って表現できるようにする。
- 調べる時には、できる限りいろいろな資料を集め、その中から必要な部分を利用するようにする。
- レポートにする時は、自分の予想、考えた流れ、利用した資料、結果という流れでまとめていく。また、他人が見て理解しやすいように工夫をする。
- 一つの疑問や課題に対して、いろいろな面や角度から考えるようにする。

家庭学習では、予習や復習(教科書を読もう!)を行い、基本的な用語は書きながら覚えていきたいと思います。また、普段からニュースや新聞記事に親しむようにしてください。